

事業番号	11 07 04	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課	

1 現状と課題

- ・市町村の景観行政団体への移行を支援することにより、現在までに30の市町村が景観行政団体へ移行しているところであるが、一方で、景観行政団体数が増加するとともに、行政界により景観行政が分断され、統一感のない景観育成が懸念される。
 - ・景観への意識の高まりにより、地域住民による新たな景観育成住民協定が締結され、現在までに177件認定しているが、人口減少や高齢化に伴い景観育成の担い手が不足しており、将来的にさらに加速していくことが予想される。
 - ・再生可能エネルギーの推進による太陽光発電施設の建設、コロナ禍に伴う地方回帰による宅地開発などによる景観の影響が懸念されており、地域と調和した景観の保全・育成が求められる。

2 事業目的

長野県の美しい景観の保全・育成を図ることで美しく風格のある県土を形成し、快適でゆとりのある豊かな暮らしを創造する。

3 事業目的を達成するための取組

①広域的な景観育成の推進

- ・【新】令和7年度に策定予定の「長野県景観育成ビジョン」に基づき、12の広域景観エリアごとに市町村と県で景観育成に向けた協議や調整の場として広域景観協議会を設置する。
 - ・【新】広域景観協議会の立上げとともに各広域景観エリアにおいて特別眺望点を指定し、広域景観の育成を目的としたアセスメント制度を創設・運用する。
 - ・今後の重点地域の追加指定について、各広域景観協議会とともに指定へ向けた検討を進める。



②市町村の景観行政団体移行支援

- ・地域主体の景観育成を促進するため、市町村の景観行政団体移行を支援していく。

③眺望点の指定推進及び眺望カードの作成

- ・地域にとって重要な景観を眺望できる場所を眺望点として指定し、届出制度と紐づけることにより、地域が守りたい景観を阻害しないよう誘導する。
 - ・小中学校でのまちづくり出前講座などで眺望カードを活用することにより、景観保全に対する興味・関心を引き出し、将来の担い手としてのきっかけを創出する。



4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし -: 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移		見込	推移			
①	景観育成重点地域指定数	箇所	4	4	→		4	→	5	△	昨年度から景観育成重点地域への指定検討を進めている木曽地域について、新たに追加指定することを目標として設定。
②	景観行政団体数	市町村	28	29	↗		29	→	31	△	5年以内（令和8年度末まで）に長野県内の市町村のうち40%が景観行政団体へ移行することを目標として設定。
③	「信州ふるさとの見える（丘）」及び「眺望点」指定数	箇所	160	160	→		160	→	165	△	新たに創設する「特別眺望点」の指定を目標として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	4,653		4,653	3,978		3.0
	要求	4,794		4,794	4,119		
R7年度		0	4,634	0	4,634	3,959	2.8
R6年度		0	14,196	0	14,196	5,356	13,614
要求からの 主な変更点		広域景観育成推進事業における信州景観大賞（仮称）制度のチラシ作成経費について、制度内容に係る検討作業を考慮し、令和9年度以降へ予算計上を見送り。					

事業番号	11 07 04	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	景観推進事業費	部局	建設部	課・室	都市・まちづくり課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	住宅総務費（景観審議会）	1,074 千円	1,190 千円	予算案 772 要求 772 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	長野県景観審議会の開催	直接	・【新】特別眺望点及び木曽地域の景観育成重点地域の指定検討に係る諮問 ・景観条例及び屋外広告物条例に係る景観行政の審議 審議会開催回数：3回	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算	
2	景観保全事業	12,424 千円	2,665 千円	予算案 3,031 要求 3,172 千円	
No.	細事業を構成する主な取組				
1	広域景観育成推進事業	直接 委託	・【新】広域景観の育成推進を図るために新たに広域景観協議会を設置 ・【新】信州の魅力ある景観や景観育成の取組の周知等を目的とした信州景観大賞（仮称）制度の検討 ・【新】長野県信州総合型地理情報システムへ特別眺望点等の区域反映 ・【新】広域景観育成ビジョンや広域景観アセスメント制度に係る県民や市町村、事業者等の理解促進のための広報 広域景観協議会：2回、GISシステムへの登録業務委託、広域景観アセスメント制度に係るガイドブック及びビジョンブックの作成		
2	屋外広告物講習会	直接	屋外広告業に関する法定講習会の開催 秋頃 1回開催		

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	風景育成事業	698 千円	779 千円	予算案 850 要求 850 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	地域景観協議会運営事業	直接	・地域景観協議会による景観育成の推進 ・広報ツールとして眺望カードを作成配付 協議会による講師の派遣：1回、カードの増刷：20種類	
2	景観育成住民協定認定事業	直接	・住民協定の活動について隨時相談受付 ・新たな住民協定について隨時認定 相談・問い合わせへの対応	
3	信州の美しい景観の魅力発信事業	委託	ホームページ（ふるさと信州風景百選、信州の歴史的まちなみ）の運用保守 信州の景観に関するコンテンツによる情報発信	